

## 関ヶ原町生涯学習教育の優れた講座2つ

～「親子甲冑制作教室」と「青少年ふるさと歴史ガイド講座」～

関ヶ原町教育委員会

### 〈関ヶ原町民憲章〉

わたしたちのふるさと関ヶ原は、東西文化の接点にある地理的・歴史的な要所で、風土豊かな町です。私たちはこの町に生きる幸せを感謝し、先人の気概を今によみがえらせ、活気ある希望にみちた町づくりを願い、この憲章を定めます。

- 美しい自然を護り、誇りある歴史と伝統を大切にします。
- ふれ合いを大切にし、思いやりの輪を広げます。
- 教養を高め、豊かな環境とかおり高い文化の創造に努めます。
- 心身を鍛え、生きがいある人生を築きます。
- ふるさとを受け継ぐすこやかな青少年の育成を目指します。

関ヶ原のまちづくりは、この町民憲章をもとに行っています。関ヶ原町の生涯学習教育は、特に最後の「ふるさとを受け継ぐすこやかな青少年の育成を目指します。」を目当てに推進し、関ヶ原町の児童生徒は、地域の豊かな自然や歴史、文化、伝統、人について体験的な学習をとおして学び、自分たちが生まれ育ったふるさとを誇りに思い、愛する心を育てています。

また、関ヶ原町の児童生徒は、学校の指導の下、主体的・自主的に地域に出かけ地域の人々に学び、学んだことを関ヶ原町を訪れた人々に紹介し伝えることに、つまり社会貢献にも努めています。

こうした取組を続ける中で、ここでは、関ヶ原町の生涯学習教育として力を入れている2つの講座を紹介します。

### 1 「関ヶ原町親子甲冑制作教室」

これは、小学4年・5年生とその保護者を対象に、子どもが身につける「甲冑」を親子で力を合わせて制作する講座のことで、期日は、5月上旬から8月下旬までの土曜日の午後。回数は、合計11回にわたります。

制作する甲冑は厚紙からできており、「胴」「草摺(くさずり)」「籠手(こて)」「臑当(すねあて)」「兜」「刀」の部位からなり、それぞれを順に作っていきます。具体的には、次のようです。厚紙を型紙に合わせて切り抜き、胴は体に合わせてゆっくと湾曲させ、部位と部位とは太い紐でつなげます。色塗りの段階になると、甲冑の色は、子どもの好きなものを塗ります。定番は「黒」「茶」「赤」ですが、中には「白」「銀」など選ぶ子どもがいます。装飾用の紐もカラフルなものが多く、見映えはさらに良くなります。

甲冑の大半は保護者が作成することになり、最初は苦労しながら作っています。しかし、中盤になるにつれ、面白みが増しさらに熱心に取り組むようになり、より格好良くするための工夫をどんどん取り入れ、制作に傾ける情熱が高まるばかりです。



甲冑が完成し、甲冑を身につけたときの子ども姿は大変凛々しく、立派な侍大将になります。ここで制作された甲冑は、各家庭において「宝物」として飾ったり、木箱に入れられたりしています。

制作した甲冑を披露する場は、小学校の運動会と関ヶ原町の合戦祭りです。その中で子どもたちは、甲冑を身につけ隊列を組んで歩く「武者行列」を行い、刀を高々にかかげ音楽に合わせて舞い踊る「剣舞」を披露し、太鼓の演奏に合わせて関ヶ原合戦の様を描かれた歌「合戦太鼓」を合唱するのです。

この親子甲冑制作教室は34年の歴史があります。完成したときの子どもの笑顔や甲冑を身につけて活躍する姿は大変嬉しいものですし、この活動をとおして親子の絆を深めてほしいです。

## 2 「青少年ふるさと歴史ガイド講座」

関ヶ原合戦に参戦した武将の陣跡が数多くありますが、この講座は、これらの史跡を小中高生が案内するものです。具体的には、自ら武将のことを調べ、現地学習を行いガイド文を作成し、ガイドの練習をした上で実際に行うものです。対象は、小学4年生から中学生までで、高校生は任意で参加する活動です。期間と回数は、5月から12月まで10回の講座です。

まず、「現地学習会」です。参戦した武将が布陣した陣跡に実際に立ち、敵方の陣跡までの距離や町内の地形をみて、合戦往時の状況や武将の気持ちを想像します。講師の先生から武将の説明を聞いてさらにイメージします。

次に、「ガイド文の作成」です。現地学習会で学んだことをまとめ、観光客に説明する文章を考えます。布陣した武将の生い立ちや、参戦した人数、合戦の状況を盛り込みます。中には、クイズ形式でつくる児童生徒もいます。

最後に「ガイド案内」です。町のイベントで秋に「陣跡制覇ウォーキング」があります。1,200人を超えるウォーカーが参加し布陣した陣跡を巡るものです。そのいくつかの陣跡においてガイド案内を行います。自分の考えた文章を暗記して案内する子ども、画用紙にまとめたイラストを用いる子ども、案内方法は様々ですが、観光客からは「よく勉強している」「楽しかった」と大変好評をいただいています。

また、一般の観光客だけでなく、海外からのツアー客にも「English」でご案内しています。最初の自己紹介から、参戦した武将や陣跡の説明、関ヶ原合戦にちなんだクイズ、最後にツアーの皆さんに好きな食べ物や好きな色などの個別インタビューを行い、子どもたちが作った折り鶴をプレゼントします。（ここで使う英語の資料は、大人が用意します。）ツアー後のアンケートでは、「子どもたちのふれあいが1番の思い出になった」と多くの方々が書かれ、喜んでいただいています。

青少年ふるさと歴史ガイド講座は22年の歴史があります。講座に参加する児童生徒には、地域を誇りに思う心と進んで活動する力を大いに育ててほしいと願いながら取り組んでいます。



なお、令和2年度は、新型コロナウイルス禍で、親子甲冑制作教室は中止、青少年ふるさと歴史ガイド講座は縮小開催（海外ツアーのご案内は中止）となりました。学校行事においても同様に中止や縮小を余儀なくされました。

今後は、新しい形式のもとどのようなことができるかを考え、「ふるさとを受け継ぐすこやかな青少年の育成」を目指して邁進していきます。